

## 第 2 回検討委員会の振り返り（第 2 回検討委員会(10/18)でのご意見と対応について）

### 1 検討委員会でのご意見（→意見に対する市の考え）

#### ○市の姿勢

- ・常滑市が「観光で頑張る」という**姿勢を前面**に出してほしい。
- ・まず常滑市が**観光に力**を入れ始めたことを認知してもらえるよう取り組んでほしい。
- ・観光促進の機運醸成を図るため、宿泊税導入前から**できることに取り組んでいく**とよい。

→検討委員会の提言として報告書に盛り込むとともに、発信力の強化や認知度の向上等に努めます。

#### ○用途

- ・展示場利用者の**満足度向上**（特に飲食店の受入環境の充実）が選ばれる展示場となり、**集客**につながる。**宿泊税がチャンス**だと感じるような具体的な取組みを示してほしい。
- ・個々の宿泊事業者では手が出しにくい、**大きな施策**を展開してほしい。また、導入に反対している**空港島から離れた地域**の宿泊施設の利用促進等の検討も必要である。
- ・宿泊事業者、住民向けに**用途に係る取組みを発信する機会**（説明会やセミナー）や困っている**宿泊事業者向けのヒアリング**が定期的に行われるとよい。

→検討委員会の提言として報告書に盛り込むとともに、今後の検討や取組みの参考にさせていただきます。

#### ○財源・基金

- ・観光施策に力を入れるなら自由度があって、**機動的に使える財源の確保が必要**である。
- ・基金をどこまで積み立てるのか、何に使うのか、たまったときにどうするのか検討が必要である。

→安定的かつ持続的な財源として宿泊税を導入します。また一部は基金とし、本市の観光振興にとって重要な事業や緊急的な事業等への活用を検討いたします。

#### ○その他

- ・システム整備補助金は、事業者から提出される見積りが適正かどうかしっかり確認してほしい。

→他市町の実績等も踏まえつつ、事務局において十分な審査・確認に努めます。

## 2 宿泊税検討委員会報告書（素案）

NO	ページ	該当箇所	ご意見	対応
1	11	<b>3 導入に係る基本的な考え方</b> ・ 導入の可否を追加	・ 検討委員会として、「 <u>導入を前提</u> 」に進める方向。	・ 検討委員会の見解を踏まえ、宿泊税は「 <u>適当</u> 」と記載。
2	11	<b>4 宿泊税の使途</b> ・ 三原則の③の見直し	・ 三原則の③「 <u>好循環サイクルの加速化</u> 」は結果の話であるため、原則の中に入ることに違和感がある。	・ ③「 <u>好循環を加速させるための基金積立</u> 」に修正。
3	12	<b>5 宿泊税を財源とする取組</b> ・ 取組内容の表の整理	・ 既存事業を記載するとよい。	・ 既存事業を記載。
4	22	<b>第6 おわりに（まとめ）</b> ・ 提言の追加	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、関係事業者等に対して導入への理解を得る。</li> <li>・ 導入時期は宿泊事業者に配慮する。</li> <li>・ 宿泊税の活用にあたって、方向性や優先順位を明確にする。</li> <li>・ 宿泊税導入前から可能な範囲で取組を始め、「機運醸成」と「認知拡大」を図る。</li> <li>・ 関係事業者等を交えた効果検証、結果の情報発信を行う。</li> </ul>